

労働力不足

飲食業を中心に労働力が不足しています。

今回のオミクロン株による影響で、外国人実習生は国内にまたしばらく入ってこれなくなりました。

これにより労働力の不足は続きます。

といっても国内には一定の外国人労働者がすでにおりるので、激減したというわけではありません。

他国を見ても、コロナ禍の収束に従い労働力が足りない状況になっていましたから、ある意味自然の流れではないでしょうか。

問題は、またいつ感染が爆発するか分からないので、雇用する側も慎重にならざるおえない、ということです。

せっかくの忘年会シーズンに、オミクロン株の影響で再度心にブレーキがかかってしまったかもしれません。

働く側のアルバイトやパート、いわゆる非正規雇用の方々も、コロナ禍で失くした仕事や借り入れたお金の返済、賃金の穴埋め問題があります。

このように、昼間に遊んでいただける商売のお客様が不安定な状況にあれば、稼働が戻らないことも社会との比例であるともいえそうです。

好調なハイミドルも、投資できる資金を持つ者だけが遊技できます。

負けが続けばリピートできなくなるのも当然です。

しかしこの高い射幸性を求める方々は、資金が不足しても低い射幸性を遊技しない、という方が多いようです。

それは好みによるものだとしかいいえません。

コロナ禍に2025年問題を考え合わせた場合、団塊の世代は戻らないと想定さえできます。

そう考えると経済的背景から、低賃での遊技者比率が伸びない可能性もありそうです。

地域において、中途半端なポジショニングにある店舗は、さらに苦しくなりそうです。

二極化に向かうのは誰の目に見ても疑いの余地はありません。